

第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト

企画名：香りと学びの番の州公園

企画団体名：坂出緩衝緑地管理事務所
(指定管理者：五栄海陸興業株式会社)

◆企画の紹介

坂出緩衝緑地の中の一つである番の州公園は、現在「バラ花壇」「アジサイ園」などが整備されています。花木や草花の観賞を目的とした利用者が増え「四季を通じて香りのある花を楽しみたい」という声も寄せられるようになりました。

また園内を一周するように「さかいでの昔話（12話）」の掲示パネルが点在しています。

これらを踏まえ、今回は「香り」をテーマとした新たな観賞ポイントを、主に昔話のパネル周辺に整備し、香りによるリラックス効果と学びを提供する場として、番の州公園をより充実させていきます。

◆企画の場所



◆坂出緩衝緑地とは？

“番の州工業地帯”の公害対策として設置されたのが「番の州公園」「西大浜緑地」「東大浜緑地」の3地区から成る『坂出緩衝緑地』です。

植物の“光合成”によって空気を浄化し、地域住民の生活環境の保全を目的として、常緑樹を主体とした植栽となっています。

近年では緩衝機能だけでなく市民の憩いの場としての需要も高まり、特に番の州公園では観賞できる花木が増え、四季折々の花を愛でに訪れる人も増えてきています。

★バラ花壇

番の州公園には、約70mのツルバラ花壇があります。H26年5月より毎年「バラ祭り」が開催され、他にもフレンチローズ花壇など計3ヶ所のバラ花壇が整備されています。



★さかいでの昔話とは？

平成26年10月より、番の州公園の園路沿いに全12話を設置しました。
【パネル寸法=W1.2m×H0.9m】
市内2名の方に協力頂き製作し、楽しい言葉に書かれた地域の民話と、オリジナリティある温かみのある絵で、園内を散策している方々に好評です。



◆企画内容（アピールポイント）

◇土壌改良

番の州公園は塩田跡地を埋め立てて造られています。埋立てて使用された花崗土（真砂土＝花崗岩の風化土砂）は、有機物がほとんど含まれておらず、植物が順調に生育しにくい土です。

その為、植栽の前に土壌改良を行う必要があります。

坂出緩衝緑地管理事務所では、市内の一般家庭を対象に、鉢植え植物が枯れた後の処分に困っている古土の無料回収を行い、土壌改良材の一部として再利用しています。これは古土のリサイクルと不法投棄防止に繋がるとして、H26年度より毎年行っている取り組みです。

これまでも桜やアジサイの植栽の際に用いて、その後順調に生育していることから、今回の企画でも同様に坂出市内の方に古土の提供を呼びかけ、土壌改良に活用します。

◇植栽場所

番の州公園では、H23年より約70mのツルバラ花壇がデビューして以来、バラの公園として知られるようになり、春にはバラの観賞や香りを目的として来園する方々が増えてきました。

しかしながら、バラ花壇は主に公園南側に集結している為、時折「北側が寂しい」「もっと色々な花を増やして欲しい」との意見をアンケートで頂くことがあり、園路沿いに季節の花を増やしていきたいと考えていました。

また、園内をぐるりと一周できるように全12ヶ所に「さかいでの昔話」の掲示パネルを設置しています。このパネルを見ている際に、ふと花木の香りがしてきたらリラックスできて和めるのではないかとという考えが思い浮かびました。

この2つの考えから、パネル周辺の園路沿い7ヶ所と全周を園路に囲まれた日当たりの良いスペース1ヶ所の計8ヶ所に、それぞれの環境にあった香りの樹木と草花の植栽を計画しました。

特に、現在何も植栽されていない三角形の区画を、香りの木が集まる新たな観賞スポットとして整備します。より近くで花の香りを感じ、花色を愛でられるように植栽地にアプローチを設けることで、車イスの利用も可能にします。また中心にある外灯によって、薄暗くなった夕方でも香る花木を楽しめる場所となっています。

◇植栽植物

植栽植物は平素から関わりのある樹木医の助言を頂き、また当公園内で試験栽培して問題なく生育しているものを採択しました。

緑地は主にクスノキなど高木の常緑樹が多く、木陰となっている園路もあります。その為、半日陰で育つ樹種を選び、日差しのある所では耐暑性の植物を選ぶなど、無理なく維持管理できるよう各々の場所に合った植物を厳選しています。

また、三角形のスペースには夏や冬に咲く植物を多めに植栽し、夏冬の香りの花スポットとして新たに整備します。

◇植付け作業

植付け作業は小学生以上を対象としたボランティアと共に行います。

ボランティア募集は園内掲示、市の広報誌への掲載や近隣の小学校などへの案内他、広く声掛けをして行います。

◇樹木医による講習会（地域住民の理解と関心）

植樹の際に樹木医を講師に招き、各植物の特徴等を学べる講習も行います。植物への理解と関心が高められ、環境学習などの学びの場として、番の州公園が発展していくことを目指します。

第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト

企画名：香りと学びの番の州公園

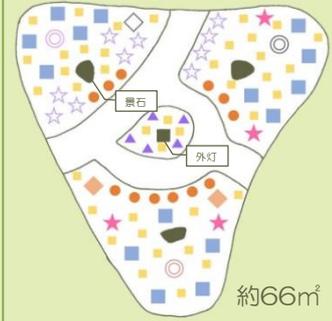
企画団体名：坂出緩衝緑地管理事務所
(指定管理者：五栄海陸興業株式会社)

植栽場所	季節	植 物 名	本数
②	冬	ロウバイ	3本
③	初夏	クチナシ	20本
④	春	シデコブシ	1本
	夏	ギンバイカ	3本
⑤	春	フリージア(黄)	100株
⑥	冬	ラッパスイセン	50株
⑦	夏	コクチナシ	20株
⑧	冬	ロウバイ	3本
	冬	ジンショウゲ	20本

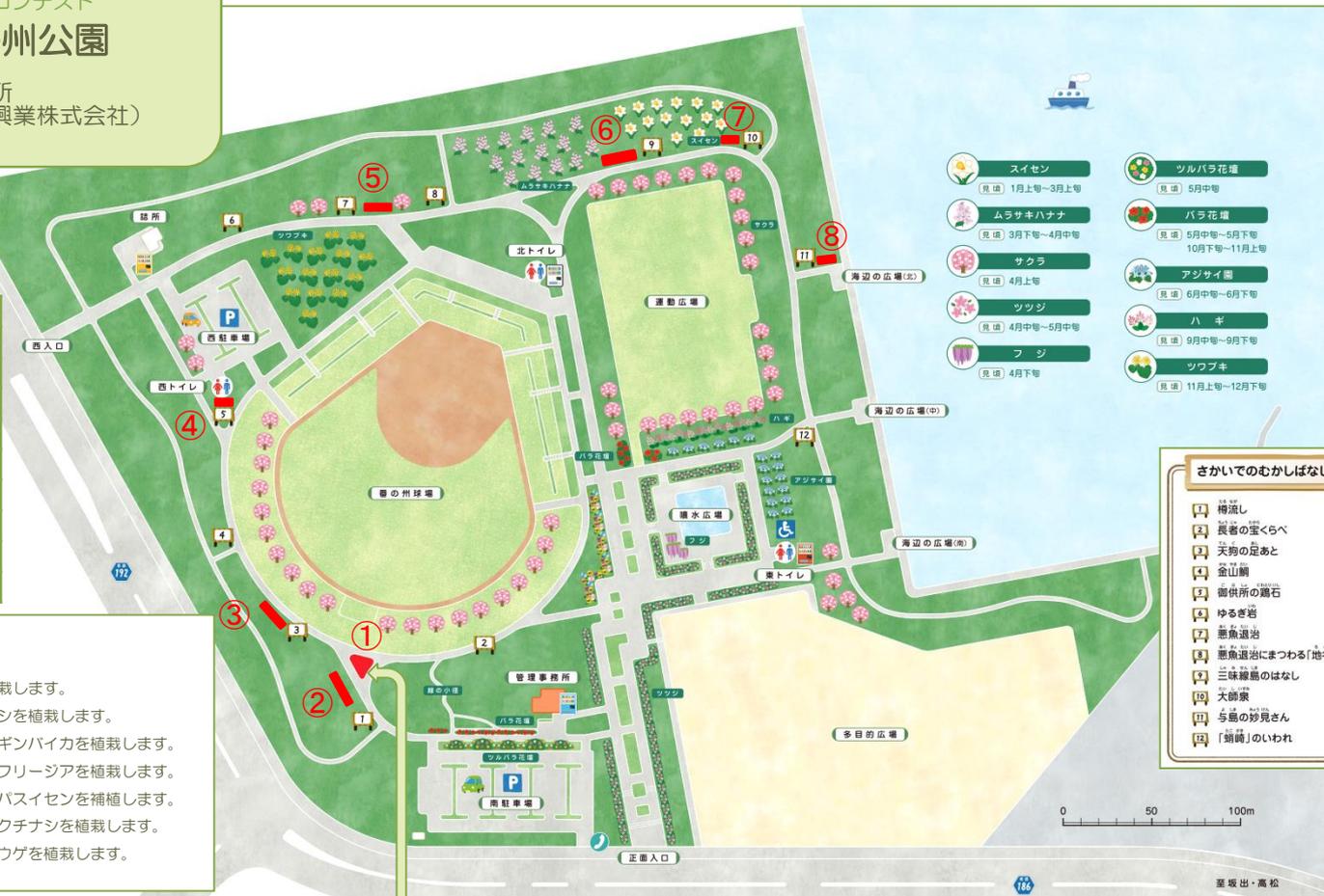
各植栽地の説明

- ②…既存のヒラドツツジとボケの間に、ロウバイを植栽します。
- ③…午後には陰になる場所の為、半日陰で育つクチナシを植栽します。
- ④…パネルの裏側にシデコブシ、その足元に葉が香るギンバイカを植栽します。
- ⑤…周辺に桜などの樹木がある為、その手前に草花のフリージアを植栽します。
- ⑥…より近くで香りを感じられるよう園路沿いにラッパスイセンを補植します。
- ⑦…周辺のスイセン花壇は冬が見頃の為、夏に咲くコクチナシを植栽します。
- ⑧…堤防付近の為、耐寒性のあるロウバイとジンショウゲを植栽します。

①



季節	記号	植 物 名	本数
春	☆	ニオイバンマツリ	10本
初夏	■	クチナシ	15本
夏	▲=4株	フレンチラベンダー	20株
夏	●=5株	チューベローズ	60株
秋	◆	キンモクセイ	2本
秋	◇	ギンモクセイ	1本
冬	◎	ウメ(白)	1本
冬	◎	ウメ(紅)	1本
冬	◎	ウメ(桃)	1本
冬	★=5本	ジンショウゲ	20本
冬	■=10株	スイセン(黄)	400株



- スイセン (見頃 1月上旬～3月上旬)
- ムラサキハナナ (見頃 3月下旬～4月中旬)
- サクラ (見頃 4月上旬)
- ツツジ (見頃 4月中旬～5月中旬)
- フジ (見頃 4月下旬)
- ツルバラ花壇 (見頃 5月中旬)
- バラ花壇 (見頃 5月中旬～5月下旬 10月下旬～11月上旬)
- アジサイ園 (見頃 6月中旬～6月下旬)
- ハギ (見頃 9月中旬～9月下旬)
- ツワブキ (見頃 11月上旬～12月下旬)

- さかいでのおかしはなし
- ① 榎流し
 - ② 長者の宝くらべ
 - ③ 天狗の足あと
 - ④ 金山駒
 - ⑤ 御供所の踏石
 - ⑥ ゆるぎ道
 - ⑦ 悪魚退治
 - ⑧ 悪魚退治にまつわる「地名」
 - ⑨ 三味線島のはなし
 - ⑩ 大師堂
 - ⑪ 与島の妙見さん
 - ⑫ 「銅鑪」のいわれ

瀬戸内・高松